

街角 ウオッチ



沖縄発、ナチュラルに響く円柱形オーディオ

東京・南青山に4月、ちょっと風変わりなオーディオ視聴スタジオ「テーゲースタジオ」がオープンした。ビルの一室の33m²足らずの空間。中をのぞくと、1940年代にイギリスで建てられた劇場で使われていたという古びた9席のシートを並んでいる。その前にはなんともキテレツなオーディオ機器が鎮座している。

■目の前で演奏しているよう

シルバーのアンプと思しき四角い箱があり、両脇には直径8～20cm、長さは40cm～2mのシルバーの円柱が置かれている。これがどうやらスピーカー。恐る恐る座って、音が鳴るのを待っていると、女性ジャズシンガーのピアノ弾き語りが聞こえてきた。その音が実に鮮明で、まるで目の前で彼女が演奏しているようなライブ感があり、ぐっと引き込まれ

る。

このオーディオは「知名オーディオ」。沖縄在住の音響機器研究者、知名宏師氏が独自に研究して開発したものだ。たまたま沖縄を訪れていたテーゲースタジオの石井肇社長がこのオーディオと出会い、音に聞きほれてしまった。

「とにかく音が今まで聞いたことがないほどきれい。聞けば、沖縄でしか販売していないということだったので、それなら東京で販売したいと、知名氏に頼み込んでしまった」と石井社長は興奮気味に話す。

では何がいったい他のオーディオと違っているのか、尋ねてみると、「音源を忠実に、そして自然に再現する正確さ」と答える。従来の機器だと信号のひずみが生じて、それを補正する必要があったという。確かに、アンプには様々な調整スイッチがあって、音にうるさい向きは熱心にいじったりもする。

■音が全方向に広がる

その点、知名オーディオのアンプは電源スイッチとボリューム調整しかついていない。コードなどの接続に使うハンダを一切なくしたことで、音のひずみを解消した。スピーカーも低音



古びた劇場のシートが並ぶテーゲースタジオ

や高音ごとに分かれていない一体型を採用しているため、音が鳴る微妙な時間のズレがない。しかも、円柱なので全方向に音が拡散していくので、部屋のどこにいても同じような音質を楽しめるという。

ただし、アンプが1台300万円と高額。背の高いスピーカーも東京の住宅事情を考えると置きづらいため、スタジオではコンパクトモデル（19万8000～24万8000円）を販売している。

これまで20～70代と幅広い年代の人が購入した。「買っていくのはよくコンサートに行く人や自分で楽器を演奏する、要は生演奏の音を知っている人が多い。その一方であまり音楽を聴かない人も音にハマって購入していきま

す」。

誰もが知っているメーカー品ではないし、値段も決して安くはない。普通であれば手を出しにくい。モノ自体を気に入って買ってしまふ人が多数いる。長引く不況の中で、名前だけでは飛び付かずに、自分の目や耳を信じ納得して買い物をする人が増えていると感じた。

(トレンドアナリスト 佐藤俊郎)



余計なもの一切省いたデザインは部屋のインテリアとしても使えそう（「知名オーディオ」のコンパクトモデル）